

会 報

令和元年度定時社員総会

開催日時 令和元年6月7日 13時00分から13時50分

開催場所 仙台国際センター 展示棟1階 展示室3B（仙台市青葉区青葉山無番地）

議事の経過及び結果

定款38条により荒井啓行会長が議長となった。議長より社員616名中450名（出席者91名、委任状提出者359名）の出席があり、定款40条1項に定める定足数を満たしている旨の報告がされ、物故会員に対し黙とうが捧げられた後、議事に入った。

第1議案 議事録署名人選任の件

定款42条に従い、議長、秋下雅弘副理事長、荒井秀典副理事長が議事録署名人に選出された。

第2議案 平成30年度事業報告及び収支決算の件

楽木宏実理事長から平成30年度事業報告、庶務の概要、会員の異動情報について報告がなされた（364頁参照）。続いて羽生春夫財務委員会委員長より平成30年度収支計算表、貸借対照表、財産目録（368～370頁参照）の説明がなされた。次に監事を代表して安藤富士子監事がいずれも法令及び定款に照らして正当であることを認める旨を述べ、他の監事も同意見であると報告した。ついで議長がその承認を議場に諮ったところ満場一致で承認された。

第3議案 令和元年度事業計画及び収支予算の件

理事長から令和元年度事業計画（371頁参照）について報告がなされた。続いて財務委員会委員長より令和元年収支予算書について説明がなされた。ついで議長がその承認を議場に諮ったところ満場一致で承認された。

第4議案 定款、定款細則変更の件（358頁参照）

理事長から学生会員を創設するため、定款、定款細則を変更することが説明された。ついで議長がその承認を議場に諮ったところ満場一致で承認された。

第5議案 代議員、役員選任の件（359頁参照）

森本茂人選挙管理委員会委員長が本社員総会の終結をもって、役員、代議員の任期が満了となることを述べ、そのため平成30年8月から9月に実施された代議員選挙の経緯及び結果について説明をした。ついで議長がその結果による代議員の選任を議場に諮ったところ満場一致で承認された。

次に理事長から定款22条により本定時社員総会の終結をもって役員の任期が満了になることの説明があり、秋下雅弘氏、荒井秀典氏、荒井啓行氏、荒木厚氏、飯島勝矢氏、海老原覚氏、大石充氏、北岡裕章氏、葛谷雅文氏、神崎恒一氏、下濱俊氏、新村健氏、武地一氏、羽生春夫氏、山口修平氏、山田祐一郎氏、横手幸太郎氏、横出正之氏、楽木宏実氏を重任の理事とし、大黒正志氏（金沢医科大学教授）を新任の理事とすること、会田薫子氏、安藤富士子氏、櫻井孝氏を重任の監事とすることが提案され、議長がその承認を議場に諮ったところ満場一致で承認された。

第6議案 名誉会員、特別会員推薦の件（359頁参照）

理事長から定款7条及び定款細則第3条1項の規定に従い森本茂人氏を名誉会員に、定款7条及び定款細則第3条3項の規定に従い浅井幹一氏、芦田敬一氏、芦田映直氏、有田幹雄氏、石塚達夫氏、井上博氏、今村雅寛氏、上田孝典氏、及川眞一氏、織部安裕氏、片山泰朗氏、金政健氏、立花久大氏、田中繁道氏、田中友二氏、栃原敏彦氏、伴野祥一氏、名倉英一氏、名倉博史氏、平澤秀人氏、広瀬信義氏、福田寛氏、藤巻博氏、間嶋満氏、松浦秀夫氏、三上洋氏を特別会員に推薦することが提案された。議長がその承認を議場に諮ったところ満場一致で承認された。

諸報告

- 1) 理事長より各委員会の活動状況について報告がなされた（375頁参照）。
- 2) エンドオブライフケアに関する小委員会で「ACP推進に関する提言」と「事例集」を作成したこと、6月6日にプレスリリースを行ったことが報告された。
- 3) 議長より9支部の地方会の開催状況について報告がなされた。
- 4) 2020年学術集会の準備状況について羽生春夫会長から、2021年学術集会の準備状況について葛谷雅文会長、同時開催の第32回日本老年学会総会 井口昭久会長から、2022年学術集会の準備状況について楽木宏実会長からそれぞれ報告があった。
- 5) 本定時社員総会の終結をもって任期が満了となる楽木宏実理事長と森本茂人理事から挨拶があった。

平成30年度事業報告

I. 庶務の概要

1. 会員の異動状況(平成31年3月31日現在)

1) 会員の異動

	前年度末	入会	退会	物故者	現在数
会員数	6,130	545	344	19	6,312

(正会員・名誉会員・特別会員)

名誉会員	35	3	-	-	38
特別会員	101	-	3	-	98
賛助会員	19	1	1	-	19

2) 役員等の異動

	前年度末	新任	退任	物故者	現在数
理事	20	3	3	-	20
監事	2	2	1	-	3
幹事	9	2	1	-	10
代議員	623		9	1	613
事務職員	4	1	1	-	4

3) 物故会員(敬称略)

代議員 浅野哲一

正会員 有留照周 飯田正美 猪狩吉雅 石田守夫
 今川正樹 川崎俊夫 佐々木淳 嶋元 徹
 菅野圭樹 須藤秀明 高松幹夫 東福要平
 日高隆徳 松永高志 村上 陽 山下二郎
 山脇万典 脇坂憲昭 (連絡のあった方のみ)

2. 会議の事項

1. 定時社員総会

2018年6月14日京都市・国立京都国際会館 Annex Hall 1

2. 理事会

2018年4月25日京都市・日本老年医学会事務所より持回り
 2018年6月13日京都市・グランドプリンスホテル京都 1階ローズルーム
 2018年7月4日京都市・日本老年医学会事務所より持回り
 2018年7月5日京都市・日本老年医学会事務所より持回り
 2018年7月26日京都市・日本老年医学会事務所より持回り
 2018年8月8日京都市・日本老年医学会事務所より持回り
 2018年10月1日京都市・日本老年医学会事務所より持回り
 2018年10月19日京都市・日本老年医学会事務所より持回り
 2018年10月30日京都市・日本老年医学会事務所より持回り
 2018年11月6日京都市・日本老年医学会事務所より持回り
 2018年12月3日京都市・日本老年医学会事務所より持回り
 2018年12月19日京都市・日本老年医学会事務所より持回り
 2019年1月26日京都市・AP東京八重洲通り
 2019年1月30日京都市・日本老年医学会事務所より持回り
 2019年3月15日京都市・日本老年医学会事務所より持回り
 2019年3月18日京都市・日本老年医学会事務所より持回り
 2019年3月26日京都市・日本老年医学会事務所より持回り

3. あり方委員会

2018年6月13日京都市・グランドプリンスホテル京都 B1階 比叡
 2019年1月26日京都市・AP東京八重洲通り

1) あり方ワーキング

2018年6月1日京都市・日本老年医学会事務所及びWeb
 2018年7月27日京都市・日本老年医学会事務所及びWeb
 2018年9月28日京都市・日本老年医学会事務所及びWeb
 2018年11月30日京都市・日本老年医学会事務所及びWeb
 2019年1月11日京都市・日本老年医学会事務所及びWeb
 2019年3月22日京都市・日本老年医学会事務所及びWeb

4. 財務委員会

2018年6月13日京都市・グランドプリンスホテル京都 B1階 鞍馬
 2018年10月9日京都市・日本老年医学会事務所より持回り
 2019年1月26日京都市・AP東京八重洲通り
 2019年3月7日京都市・日本老年医学会事務所より持回り

5. 雑誌編集委員会

2018年4月25日京都市・日本老年医学会事務所及びWeb
 2018年6月13日京都市・グランドプリンスホテル京都 B1階 比叡
 2019年1月26日京都市・AP東京八重洲通り

6. GGI 編集委員会

2018年6月15日京都市・国立京都国際会館 1階 Room 501
 2019年1月26日京都市・AP東京八重洲通り

7. 高齢者医療委員会

2018年6月15日京都市・国立京都国際会館 1階 Room 104
 2019年1月30日京都市・日本老年医学会事務所より持回り

1) 認知症対策小委員会

2018年6月15日京都市・国立京都国際会館 1階 Room 101
 2019年1月26日京都市・AP東京八重洲通り

2) 在宅医療小委員会

2018年6月16日京都市・国立京都国際会館 1階 Room 104

3) 骨折転倒対策小委員会

2018年6月14日京都市・国立京都国際会館 1階 Room 103
 2019年1月26日京都市・AP東京八重洲通り

8. 高齢者医療研修委員会

2018年6月16日京都市・国立京都国際会館 1階 Room 104

9. 学術委員会

2018年6月15日京都市・国立京都国際会館 1階 Room 104

1) EWTOPIA75 小委員会

2018年6月14日京都市・国立京都国際会館 1階 Room 104
 2019年1月26日京都市・AP東京八重洲通り

2) 高齢者糖尿病の治療の質向上のための合同委員会

2018年12月9日日本糖尿病学会事務局

3) 認知・ADL-妥当性検証 WG

2018年6月14日京都市・国立京都国際会館 1階 Room 104
 2019年1月26日京都市・AP東京八重洲通り

10. 教育委員会

2018年6月14日京都市・国立京都国際会館 1階 Room 104
 2019年1月26日京都市・AP東京八重洲通り

11. 専門医制度委員会:新専門医制度準備小委員会合同委員会

2018年6月14日京都市・国立京都国際会館 1階 Room 104
 2019年1月26日京都市・AP東京八重洲通り

1) 専門医試験作成・認定小委員会

2018年6月14日京都市・国立京都国際会館 1階 Room 103

2) 専門医資格・施設認定小委員会

2019年1月18日京都市・日本老年医学会事務所より持回り

12. 顕彰委員会

2018年6月14日京都市・国立京都国際会館 1階 Room 101

13. 優秀論文賞選考委員会

2018年12月20日京都市・日本老年医学会事務所より持回り

- 2019年2月14日東京都・日本老年医学会事務所より持回り
14. 老化および老年医学研究助成選考委員会
2018年12月3日東京都・日本老年医学会事務所より持回り
2019年1月9日東京都・日本老年医学会事務所より持回り
15. 倫理委員会
2018年6月14日京都市・国立京都国際会館 1階 Room 103
1) エンドオブライフケアに関する小委員会
2018年6月15日京都市・国立京都国際会館 1階 Room 101
2018年12月27日東京都・日本老年医学会事務所より持回り
16. 利益相反委員会
2018年6月13日京都市・グランドプリンスホテル京都 B1階 比叡
17. 学術プログラム委員会
2018年6月13日京都市・グランドプリンスホテル京都 B1階 鞍馬
2019年1月26日東京都・AP東京八重洲通り
18. 国際交流委員会
2018年6月13日京都市・グランドプリンスホテル京都 B1階 鞍馬
2019年1月26日東京都・AP東京八重洲通り
19. 国内交流委員会
2018年4月3日東京都・日本老年医学会事務所より持回り
2018年6月4日東京都・日本老年医学会事務所より持回り
2018年6月14日京都市・国立京都国際会館 1階 Room103
2018年6月20日東京都・日本老年医学会事務所より持回り
2018年6月28日東京都・日本老年医学会事務所より持回り
2018年7月5日東京都・日本老年医学会事務所より持回り
2018年7月12日東京都・日本老年医学会事務所より持回り
2018年7月23日東京都・日本老年医学会事務所より持回り
2018年9月21日東京都・日本老年医学会事務所より持回り
2018年10月9日東京都・日本老年医学会事務所より持回り
2018年10月23日東京都・日本老年医学会事務所より持回り
2018年11月20日東京都・日本老年医学会事務所より持回り
2018年12月28日東京都・日本老年医学会事務所より持回り
2019年1月15日東京都・日本老年医学会事務所より持回り
2019年2月14日東京都・日本老年医学会事務所より持回り
2019年2月18日東京都・日本老年医学会事務所より持回り
2019年3月14日東京都・日本老年医学会事務所より持回り
2019年3月18日東京都・日本老年医学会事務所より持回り
20. 広報委員会
2018年6月15日京都市・国立京都国際会館 1階 Room 501
21. 選挙管理委員会
2018年6月15日京都市・国立京都国際会館 1階 Room 104
22. 男女共同参画委員会
2018年6月16日京都市・国立京都国際会館 1階 Room 104
2019年1月26日東京都・AP東京八重洲通り
23. 用語委員会
2018年6月15日京都市・国立京都国際会館 1階 Room 104
2018年10月26日東京都・日本老年医学会事務所及びWeb
24. YIA 選考委員会
2019年2月1日東京都・日本老年医学会事務所より持回り

II. 事業の状況

1. 学術集会等の開催(定款第6条1項)

1) 日本老年医学会年次学術集会

第60回日本老年医学会学術集会

会期:2018年6月14日(木)~16日(土)

会長:横出正之(京都大学医学部附属病院 臨床研究総合

センター早期臨床試験部 教授)

会場:国立京都国際会館

参加者数:2,214名

学会テーマ:豊かな高齢社会に向けた老年医学の新たな暦をめぐる

会長講演1題、招聘講演3題、特別講演3題、尼子賞受賞講演1題、教育講演18題、ジョイントシンポジウム1題、シンポジウム25題、ショートシンポジウム2題、パネルディスカッション1題、ディベート1題、第1回日本老年医学会老化および老年医学研究助成受賞者講演3題、特別提言1題、経過報告1題、内閣府からの特別提言1題、老年医学ジャーナルレビュー2018、倫理講習会、高齢者医療研修会、市民公開講座3題、認知症の実践セミナー2題、ランチョンセミナー21題、一般演題数:334題

2) 日本老年医学会地方学術集会

第29回北海道地方会

会期:2018.6.23

会場:札幌医科大学記念ホール

会長:千葉進(札幌西円山病院神経内科総合医療センター)

発表演題:7題参加者:66名

教育講演:「超高齢社会における健康・医療・福祉の課題」

鈴木隆雄(桜美林大学/国立長寿医療研究センター)

第29回東北地方会

会期:2018.10.13

会場:秋田県総合保健センター

会長:山田祐一郎(秋田大学内分・代謝・老年内科学)

発表演題:17題参加者64名

教育講演:「認知症施策の現状と課題、将来展望について」

大田秀隆(秋田大学高齢者医療先端研究センター)

教育講演:「老年病と外科」木村 理(山形大学医学部 外科学第一講座)

ランチョンセミナー:「COPDの診断と治療」中山 勝敏(秋田大学

大学院医学系研究科呼吸器内科学講座)

第68回関東甲信越地方会

会期:2018.9.8

会場:東京大学大学院情報学環福武ホール

会長:飯島勝矢(東京大学高齢社会総合研究機構)

発表演題:24題参加者:193名

特別企画:「シエントロジーから見た老年医学」近藤 克則(千葉大学)

教育講演:「コグニティブ・フレイルの概念と今後の展望」櫻井孝

(国立長寿医療研究センター)

教育講演:「フレイルと人参養栄湯 -健康長寿に向けて」乾明夫

(鹿児島大学)

ランチョンセミナー:「物忘れ外来における高齢初発てんかん -認知症との鑑別や関連について-」塩崎一昌(横浜市総合保健

医療センター)

第69回 関東甲信越地方会

会期:2019.3.2

会場:慶應義塾大学病院大会議室

会長:新井康通(慶應義塾大学医学部百寿総合研究センター)

発表演題:18題参加者:206名

特別講演:「健康長寿の研究 -スーパーセンテナリアンの科学-」広瀬

信義(慶應義塾大学医学部百寿総合研究センター)

教育講演:「長寿時代の高齢者の幸福のありかた」榎藤恭之(大阪大学人間科学研究科臨床死生学・老年行動学講座)

ランチョンセミナー:「パーキンソン病の薬物治療 -歩行障害を中心として-」赫寛雄(東京医科大学神経学分野)

第29回東海地方会

会期:2018.11.3

会場:名古屋大学医学部附属病院 中央診療棟3階講堂

会長:櫻井孝(国立長寿医療研究センターもの忘れセンター)

発表演題:33題参加者:169名

テーマ:「認知症の人・家族を中心とした認知症予防」

特別講演:「地域づくりによる認知症予防の可能性」近藤克則(千葉大学予防医学センター/国立長寿医療研究センター)

教育企画:「アルツハイマー病の画像・血液バイオマーカー」中村昭範(国立長寿医療研究センター脳機能画像診断開発部)

シンポジウム:「認知症当事者のニーズとアンメットニーズ」

1.「多様な人達との繋がりを元気に変えて 自分らしく地域で暮らす」足立哲也(恵那市医療福祉部)

2.「認知症初期集中支援チームの現状と課題」鷺見幸彦(国立長寿医療研究センター)

3.「認知症の医療と多職種連携」武田章敬(国立長寿医療研究センター)

4.「市民主体の認知症官民連携プラットフォーム(PPP)の構築に向けて」栗田駿一郎(日本医療政策機構)

第29回北陸地方会

会期:2018.11.17(市民公開講座:2018.11.18)

会場:金沢医科大学医学教育棟

会長:梶波康二(金沢医科大学循環器内科)

発表演題:18題参加者:47名

特別講演:「血管からみる高齢者心不全」倉林正彦(群馬大学大学院医学系研究科)

市民公開講座

テーマ:「フレイル予防で健康長寿を！」

1.年齢とフレイルを考えた対策」荒井秀典(国立長寿医療研究センター)

2.「フレイルを予防する運動習慣」前田大忠(金沢医科大学)

3.「フレイルを予防する食事」中川睦美(金沢医科大学)

第29回近畿地方会

会期:2018.11.17

会場:大阪国際交流センター

会長:楽木宏実(大阪大学大学院医学系研究科老年・総合内科学)

発表演題:41題参加者:181名

テーマ:「老年医学による健康長寿の探求」

特別講演:「高齢者糖尿病の現状と将来」池上博司(近畿大学医学部内分泌・代謝・糖尿病内科)

ランチョンセミナー:「フレイルと人参養榮湯 -最近の基礎・臨床研究を中心に-」乾明夫(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科漢方薬理学講座)

市民公開講座

テーマ:「老いに備え、老いを生きる～食べて 笑って みんなで元気」

1.「賢い食べ方で健康長寿に」福尾恵介(武庫川女子大学)

2.「笑いが育てる健康長寿」青木元邦(森ノ宮医療大学)

3.「みんなで見守るもの忘れ」竹屋泰(大阪大学大学院医学系研究科)

4.「ニューロタンスで健康長寿」橋本弘子(森ノ宮医療大学)

第30回中国地方会

会期:2018.11.17

会場:広島コンベンションホール

会長:丸山博文(広島大学大学院脳神経内科学)

発表演題:18題参加者:95名

特別講演:「生活習慣に焦点を当てた認知症予防・治療の開発」山田正仁(金沢大学大学院医薬保健学総合研究科)

ランチョンセミナー:「高齢者てんかんの診断と治療」上原平(九州大学大学院医学研究院臨床神経生理学)

第30回四国地方会

会期:2019.01.20

会場:高知市文化プラザ「かるぼーと」

会長:北岡裕章(高知大学医学部老年病・循環器内科学)

発表演題:16題参加者:67名

特別講演:「認知症の包括的治療」数井裕光(高知大学医学部神経精神科学教室)

ランチョンセミナー:「心房細動からみた、今どき心不全」大西勝也(大西内科ハートクリニック)

ティータイムセミナー:心と体のレジリエンス(回復力)を高める漢方医学 -漢方補腎薬の抗サルコペニア効果について-」萩原圭祐(大阪大学大学院医学系研究科)

シンポジウム:「超高齢社会への対策 -生活を支える医療とは-」

1.松浦喜美夫(いの町立国民健康保険仁淀病院)、2.久保田聰美(高知県立大学看護学部健康長寿センター)、3.田中公章(特定医療法人長生会大井田病院)、4.山首尚子(土佐町社会福祉協議会)、5.清水貴也(高知県庁健康政策部医療政策課)

第29回九州地方会

会期:2019.3.2

会場:TKP博多駅筑紫ロビビジネスセンター

会長:土橋卓也(製鉄記念八幡病院)

発表演題:26題参加者:132名

特別講演:「糖尿病・高血圧患者におけるポリファーマシー問題を考える」野原栄(福岡東医療センター糖尿病・内分泌内科)

シンポジウム:「高齢者の生活習慣病の薬物療法」

1.「高齢者における降圧剤・抗凝固薬の考え方 -最大のベネフィットを得るためには?」吉田哲郎(おんが病院)

2.「心房細動、脳卒中、そして認知症の密接な三角関係」脇坂義信(九州大学大学院医学研究院)

3.「医師・薬剤師協働により、地域で取り組むポリファーマシー対策」末松文博(JCHO 九州病院)

ランチョンセミナー:「フレイルと人参養榮湯 -健康長寿に向けて-」乾明夫(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科漢方薬理学講座)

3) 第12回老年医学サマーセミナー(医学部学生4年生～6年生、初期研修医が参加対象)(定款第6条7項)

会期:2018.8.3(金)～4(土)

開催地:国立長寿医療研究センター

主催:日本老年医学会・国立長寿医療研究センター

参加者:21名

4) 高齢者医療研修会(定款第6条7項)

① 座学形式。

修了書発行を受けるには12項目・8時間の受講が必須

平成30年6月16日:京都市で第60回学術集会主催(参加者105名)

平成30年11月3日:東京で全日本病院協会と共催(参加者100名)

平成31年3月23日:名古屋市で東海支部主催(参加者74名)

② ワークショップ形式。

修了書発行を受けるには8時間の受講が必須

平成30年6月17日:京都市で第60回学術集会主催(参加者105名)

平成30年11月4日:東京で全日本病院協会と共催(参加者100名)

平成31年3月24日:名古屋市で東海支部主催(参加者69名)

2. 学会誌その他の出版物の刊行(定款第6条2項)

1. 学会誌「日本老年医学会雑誌」

1) 定期号 第55巻2号～4号及び第56巻1号 合計4冊を発行した。

2) Supplement 第59回学術集会講演抄録集として第55巻のSupplementを5月に発行した。

2. 英文誌「Geriatrics and Gerontology International」(GGI)(正式略称 Geriatr Gerontol Int)

1) オンラインで Vol.18 Issue4～Issue13, Vol.19 Issue1～3 を発行した。

3. 学会認定 老年病専門医、指導医、教育施設の認定(定款第6条3項)

1) 老年病専門医の認定

日本老年医学会認定 老年病専門医制度規則により第27回老年病専門医試験を平成30年10月14日一橋大学一橋講堂(東京都千代田区)において実施した。審議会において試験合格者を決定し、専門医制度委員会、理事会の議を経て35名を認定した。

2) 指導医の委嘱

新・老年病専門医制度に対応した指導医の要件により提出された指導医申請書類の審査を実施し、新たに18名を認定し委嘱した。

3) 教育施設の認定

日本老年医学会認定 老年病専門医制度規則により提出された認定施設申請書類の審査を実施し、新たに1施設を認定した。

4) 平成31年3月31日の時点で認定を受けた日から満5年を経る老年病専門医、指導医、認定施設に対し、日本老年医学会認定老年病専門医制度規則により提出された書類の審査を実施し、専門医322名、指導医182名、認定施設108施設の更新を認定した。

5) 専門研修プログラムの認定

平成31年4月1日から新・老年病専門医制度における専門研修を開始するために、老年病専門研修プログラム、老年病専門研修カリキュラムにより提出された専門研修プログラム申請書類の審査を実施し、29の老年病専門研修プログラムを新規で認定し、合計64となった。

4. 研究の奨励、研究業績の表彰(定款第6条4項)

1) 第25回日本老年医学会優秀論文賞

日本老年医学会雑誌第54巻1号から4号(平成29年1月～10月発行)に掲載された論文の中から選考し、伊藤直子、谷口英喜、佐藤亮平の3会員を日本老年医学会優秀論文賞受賞者として平成30年6月14日の総会において顕彰した。

2) 第8回 Geriatrics & Gerontology International 優秀論文賞

GGI誌 Volume17に掲載された論文の中から選考し、Hyuma Makizako, Satoshi Seino, Woorim Kimの3名をGeriatrics & Gerontology International優秀論文賞受賞者として平成30年6月14日の総会において顕彰した。

3) 「第4回日本老年医学会 老化および老年医学研究助成」の受賞者の選考

平成30年1月21日の選考委員会により選考された会員:
清水逸平、中神啓徳、和田泰三

5. 内外の関連学術団体との連絡及び協力(定款第6条5項)

1) 加盟学術団体である日本老年学会の運営を日本老年社会科学会、日本基礎老化学会、日本老年歯科医学会、日本老年精神医学会、本ケアマネジメント学会、日本老年看護学会と共に協議協力した。

2) 日本老年学会として加盟している国際老年学協会International Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG)の活動に参加協力した。

6. その他、目的を達成するために必要な事業(定款第6条8項)

1) 各種委員会(あり方委員会、あり方WG、健康長寿達成を支える老年医学推進5か年計画WG、財務委員会、雑誌編集委員会、GGI編集委員会、高齢者医療委員会、認知症対策小委員会、在宅医療小委員会、高齢者災害医療小委員会、ワクチン療法推進小委員会、骨折転倒対策小委員会、科学的介護検討小委員会、高齢者医療研修委員会、学術委員会、フレイル・サルコペニア対策小委員会、EWTOPIA75小委員会、高齢者の生活習慣病管理が「オンライン」作成WG、高齢者糖尿病の治療の質向上のための合同委員会、認知・ADL-7妥当性検討WG、教育委員会、専門医制度委員会、新専門医制度準備小委員会、専門医試験作成・認定小委員会、専門医資格・施設認定小委員会、顕彰委員会、優秀論文賞選考委員会、老化および老年医学研究助成選考委員会、倫理委員会、エト・オブ・ライフに関する小委員会、利益相反委員会、学術プログラム委員会、国際交流委員会、国内交流委員会、広報委員会 選挙管理委員会、男女共同参画委員会、用語委員会、YIA選考委員会)を開催し本会の目的を達成するため種々の検討が行われ活動が行われた。

Ⅱ 貸借対照表

平成31年3月31日 現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金	813	159,889	△ 159,076
預 金	207,891,137	143,952,190	63,938,947
未 収 会 費	11,481,200	9,617,787	1,863,413
前 払 金	10,500,000	7,000,000	3,500,000
流動資産合計	229,873,150	160,729,866	69,143,284
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0
(2) 特定資産			
① 退職積立資産	15,643,600	23,015,520	△ 7,371,920
② 国際関係費積立資産	18,302,589	18,302,589	0
③ 書籍刊行積立資産	7,401,501	7,401,501	0
④ 研究助成積立資産	27,322,034	27,322,034	0
⑤ 設備積立資産	17,098,175	17,098,175	0
⑥ 整備積立資産	5,500,882	5,500,882	0
⑦ 事務所費用積立資産	5,451,926	5,451,926	0
⑧ 支部・地方会積立資産	25,576,720	24,732,447	844,273
特定資産合計	122,297,427	128,825,074	△ 6,527,647
(3) その他固定資産			
① 建物附属設備	8,922	17,838	△ 8,916
② 什器備品	35,417	70,825	△ 35,408
③ 電話加入権	216,000	216,000	0
④ 保証金	6,357,000	6,357,000	0
その他固定資産合計	6,617,339	6,661,663	△ 44,324
固定資産合計	148,914,766	155,486,737	△ 6,571,971
資産合計	378,787,916	316,216,603	62,571,313
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	1,615,570	1,161,110	454,460
前 受 会 費	1,704,000	1,832,000	△ 128,000
預 金	313,186	758,053	△ 444,867
流動負債合計	3,632,756	3,751,163	△ 118,407
2. 固定負債			
退職給付引当金	15,643,600	23,015,520	△ 7,371,920
固定負債合計	15,643,600	23,015,520	△ 7,371,920
負債合計	19,276,356	26,766,683	△ 7,490,327
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
指定正味財産合計	20,000,000	20,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	(0)
2. 一般正味財産	339,511,560	289,449,920	70,061,640
(うち特定資産への充当額)	(106,653,827)	(105,809,554)	(844,273)
正味財産合計	359,511,560	289,449,920	70,061,640
負債及び正味財産合計	378,787,916	316,216,603	62,571,313

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物付属設備及び器具備品…定率法による減価償却を実施している。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金…期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
小 計	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	23,015,520	652,768	8,024,688	15,643,600
国際関係費積立資産	18,302,589	0	0	18,302,589
書籍刊行積立資産	7,401,501	0	0	7,401,501
研究助成積立資産	27,322,034	0	0	27,322,034
施設積立資産	17,098,175	0	0	17,098,175
整備積立資産	5,500,882	0	0	5,500,882
事務所費用積立資産	5,451,926	0	0	5,451,926
支部・地方会積立資産	24,732,447	27,573,622	26,729,349	25,576,720
小 計	128,825,074	28,226,390	34,754,037	122,297,427
合 計	148,825,074	28,226,390	34,754,037	142,297,427

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	20,000,000	(20,000,000)	(0)	—
小 計	20,000,000	(20,000,000)	(0)	—
特定資産				
退職給付引当資産	15,643,600	(0)	(0)	(15,643,600)
国際関係費積立資産	18,302,589	(0)	(18,302,589)	—
書籍刊行積立資産	7,401,501	(0)	(7,401,501)	—
研究助成積立資産	27,322,034	(0)	(27,322,034)	—
施設積立資産	17,098,175	(0)	(17,098,175)	—
整備積立資産	5,500,882	(0)	(5,500,882)	—
事務所費用積立資産	5,451,926	(0)	(5,451,926)	—
支部・地方会積立資産	25,576,720	(0)	(25,576,720)	—
小 計	122,297,427	(0)	(106,653,827)	(15,643,600)
合 計	142,297,427	(20,000,000)	(106,653,827)	(15,643,600)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物付属設備	2,561,713	2,552,791	8,922
器具備品	5,527,983	5,492,566	35,417
合 計	8,089,696	8,045,357	44,339

IV 財 産 目 録
平成 31 年 3 月 31 日現在 (単位:円)

科 目	金 額	金 額
1 資産の部		
1. 流動資産		
1) 現金	813	
2) 普通預金		
みずほ銀行本郷支店	142,503,929	
"	3,373,012	
"	10,068	
三菱東京UFJ銀行春日町支店	114,058	
普通預金計	146,001,067	
3) 郵便振替	24,614,714	
"	24,676,857	
郵便振替計	49,291,571	
4) 定期預金		
三菱東京UFJ銀行春日町支店	2,598,499	
本郷郵便局	10,000,000	
定期預金計	12,598,499	
5) 未収金		
正会員会費	5,328,000	
転載許諾料等	5,346,000	
広告掲載料等	202,176	
別刷代掲載料等	243,200	
地方会	361,824	
未収会費計	11,481,200	
6) 前払金		
教育事業運営費		
総会運営費 61・62・63 回	10,500,000	
前払金計	10,500,000	
流動資産合計		229,873,150
2. 固定資産		
1) 基本財産		
定期預金		
みずほ銀行本郷支店	20,000,000	
基本財産計		
2) 特定資産		
(1) 退職積立資産		
みずほ銀行本郷支店	1,268,920	
みずほ銀行本郷支店	14,374,680	
(2) 国際関係費積立資産		
みずほ銀行本郷支店	18,302,589	
(3) 書籍刊行積立資産		
みずほ銀行本郷支店	7,401,501	
(4) 研究助成積立資産		
みずほ銀行本郷支店	27,322,034	
(5) 設備積立資産		
みずほ銀行本郷支店	17,098,175	
(6) 整備積立資産		
みずほ銀行本郷支店	5,500,882	
(7) 事務所費用積立資産		
みずほ銀行本郷支店	5,451,926	
(8) 支部・地方会積立資産	25,576,720	
特定資産計	122,297,427	
3) その他固定資産		
(1) 建物附属設備		
ト'ア・フ'ライント'他 2 点	8,922	
(2) 什器備品		
収納庫他 4 点	35,417	
(3) 電話加入権		
(03)3814-8104 他 2 本	216,000	
(4) 保金		
杏林ヒール 7 0 2 号	6,357,000	
その他固定資産計	6,617,339	
固定資産合計		148,914,766
資産合計		378,787,916

科 目	金 額	金 額
II 負債の部		
1. 流動負債		
1) 未払金		
広報活動費(事業)	70,200	
消耗品費(管理)	5,931	
印刷製本費(管理)	28,094	
通信運搬費(管理)	22,211	
振込手数料(管理)	16,610	
福利厚生費(管理)	57,240	
法定福利費(管理)	356,384	
社会保険預り金	347,800	
消費税等	711,100	
未払金計	1,615,570	
2) 前受会費		
正会員会費	1,704,000	
前受会費計	1,704,000	
3) 預り金		
源泉所得税預り金	187,756	
住民税預り金	70,900	
社会保険預り金	54,530	
預り金計	313,186	
流動負債合計		3,632,756
2. 固定負債		
1) 退職給付引当金		15,643,600
負債合計		19,276,356
正味財産		359,511,560

令和元年 5 月 22 日

一般社団法人日本老年医学会
理事長 樂木 宏実 殿

一般社団法人日本老年医学会

監事 会田 薫子 ㊞

監事 安藤 富士子 ㊞

監事 櫻井 孝 ㊞

監査報告書

私たちが監事は、平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの当法人の事業年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 99 条第 1 項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たちが監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要会議に出席し、理事及び使用人等から財産の状況及び職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。

② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は当法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

令和元年事業計画

1. 学術集会等の開催(定款第6条1項)

1) 日本老年医学会年次学術集会

第61回日本老年医学会学術集会

会期:2019年6月6日(木)~8日(土)

会長:荒井 啓行(東北大学加齢医学研究所 老年医学分野 教授)

会場:仙台国際センター, 東北大学百周年記念会館

学会テーマ:老年医学研究のフロンティア—超高齢社会への処方箋を探る—

海外招請講演 1: Amyloid and Tau Imaging in neurodegeneration

Prof. Victor L Villemagne (Dept of Molecular Imaging & Therapy, Austin Health, Melbourne)

海外招請講演 2: Geriatrics in South East Asia

Prof. Prasert Assantachai (Faculty of Medicine Siriraj Hospital, Mahidol University, Bangkok)

特別講演 1: 生命科学における糖鎖生化学研究の意義

遠藤玉夫(東京都健康長寿医療センター研究所)

会長講演: 認知症克服へのイノベーション

荒井啓行(東北大学加齢医学研究所老年医学分野 教授)

尼子賞記念講演: 尼子賞受賞に際して

井口昭久(名古屋大学名誉教授、愛知淑徳大学 教授)

教育講演

1 高齢者のがん治療 Up Date—進行がんのがん薬物療法を中心に—

石岡千加史(東北大学加齢医学研究所臨床腫瘍学分野/東北大学病院腫瘍内科)

2 遺伝子改変マウスを用いた脳内 CRF ニューロンの形態と機能の解明

井樋慶一(東北大学大学院情報科学研究科情報生物学分野)

3 地域における高齢者及び認知症医療の実践と医学教育

古川勝敏(東北医科薬科大学医学部地域医療学教室)

4 新しい血管恒常性維持機構と健康長寿との2面性

佐藤靖史(東北大学未来科学技術共同研究センター)

5 超高齢社会と循環器疾患

下川宏明(東北大学大学院医学系研究科循環器内科学)

6 東日本大震災から学んだ災害医療

沖永壯治(東北大学加齢医学研究所老年医学分野)

7 高齢者の嚥下障害を診る

香取幸夫(東北大学大学院医学系研究科神経・感覚器病態学講座耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野)

8 フレイル・サルコペニア予防と運動

永富良一(東北大学大学院医工学研究科健康維持増進医工学分野)

9 高齢者の排尿障害治療の最近の進歩

佐藤信(東北医科薬科大学医学部泌尿器科学講座)

10 高齢者の外科手術—予定手術・緊急手術—

木村理(山形大学外科学第一講座(消化器・乳腺甲状腺・一般外科))

11 認知症の画像診断 Update

岡村信行(東北医科薬科大学医学部薬理学教室)

12 「知って知らない」高齢者のてんかん

中里信和(東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野)

13 高齢者の喘息と COPD

一ノ瀬正和(東北大学呼吸器内科学分野)

ジョイントシンポジウム 1: 認知症予防の現状と今後の展望

司会: 荒井啓行(東北大学加齢医学研究所脳科学研究部門 老年医学分野)

浦上克哉(鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座 環境保健学分野)

ジョイントシンポジウム 2: 骨折の一次予防ならびに二次予防に向けて

司会: 竹内靖博(虎の門病院内分泌センター)

浦野友彦(国際医療福祉大学医学部老年病学講座)

ジョイントシンポジウム 3: 幸福な超高齢社会創設のためのリハビリテーション医学と老年医学との連携

司会: 海老原覚(東邦大学大学院医学研究科リハビリテーション医学講座)

上月正博(東北大学大学院医学系研究科内部障害学分野)

ジョイントシンポジウム 4: 「高齢者在宅医療・介護サービスガイドライン2019年版」の臨床応用に向けて

司会: 三浦久幸(国立長寿医療研究センター在宅連携医療部)

山中崇(東京大学大学院医学系研究科在宅医療学講座)

ジョイントシンポジウム 5: 日本版 Multimorbidity 高齢者の診療手引き作成に向けて

司会: 新村健(兵庫医科大学内科学総合診療科)

木村琢磨(埼玉医科大学総合診療内科)

シンポジウム 1 高齢者の緩和ケア

司会: 辻彼南雄(水道橋東口クリニック)

葛谷雅文(名古屋大学大学院医学系研究科地域在宅医療学・老年科)

シンポジウム 2 日本老年医学会「ACP の推進に関する提言」～提言に至る背景と解説～

司会: 葛谷雅文(名古屋大学大学院医学系研究科地域在宅医療学・老年科)

三浦久幸(国立長寿医療研究センター在宅連携医療部)

シンポジウム 3 老年疾患の性差

司会: 小島太郎(東京大学大学院医学系研究科加齢医学講座)

阿部庸子(東京医科歯科大学医学部附属病院長寿・健康人生推進センター)

シンポジウム 4 健康長寿を目指す予防医学—介護保険に頼らない人生を—

司会: 荒井秀典(国立長寿医療研究センター)

大石充(鹿児島大学心臓血管・高血圧内科学)

シンポジウム 5 Medication review における多職種連携: どう連携するか

司会: 秋下雅弘(東京大学老年病科)

眞野成康(東北大学病院薬剤部)

シンポジウム 6 社会的フレイルの定義

司会: 荒井秀典(国立長寿医療研究センター)

藤原佳典(東京都健康長寿医療センター研究所)

社会参加と地域保健チーム)

シンポジウム 7 2050 年を見据えたシステムづくり・地域づくり—シニアロジック(総合老年学)からの発信—

司会: 飯島勝矢(東京大学高齢社会総合研究機構)

シンポジウム 8 老年医学が主導する予防と共生をテーマとした認知症研究の全国展開

司会: 鳥羽研二(国立長寿医療研究センター)

布施昇男(東北大学東北メディカル・メガバンク機構副機構長/
地域支援仙台センター長/脳画像コホート室長)

シンポジウム9 高齢者の転倒を考える
司会: 小川純人(東京大学大学院医学系研究科加齢医学)
宮尾益理子(アットホーム表参道クリニック)

シンポジウム10 老年病専門医とセルフネグレクト
司会: 大西丈二(名古屋大学医学部付属病院老年内科)
池田直樹(上本町総合法律事務所)

シンポジウム11 高齢者の性一介護現場の sexual behavior に対する
理解と対応—
司会: 遠藤英俊(国立長寿医療研究センター長寿医療研修センター)
鈴木俊夫(鈴木歯科医院)

学会事業報告 EWTOPIA75 結果報告:
大内尉義(EWTOPIA75 試験主任研究者/
国家公務員共済組合連合会虎の門病院)

特別提言 老年医学推進5か年計画
司会: 大内尉義(国家公務員共済組合連合会虎の門病院)
荒井秀典(国立長寿医療研究センター)

老年医学ジャーナルレビュー2019
司会: 小島太郎(東京大学大学院医学系研究科加齢医学講座)

新専門医制度の専門研修カリキュラムに関する説明会
講師: 神崎恒一(杏林大学医学部付属病院高齢診療科)
江頭正人(東京大学大学院医学系研究科医学教育国際
研究センター医学教育部門)

プレス発表: 日本老年医学会「ACP 推進に関する提言」・
「高齢者在宅医療・介護サービスガイドライン2019」

男女共同参画委員会企画: 第3回みんなのティーサロン近く&遠くの仲
間と交流しよう

第1回日本老年医学会 YIA 受賞者講演
司会: 武地一(藤田医科大学医学部認知症・高齢診療科)
新村健(兵庫医科大学病院総合診療科)

第2回日本老年医学会老化および老年医学研究助成受賞者講演

1. 高齢発症アルツハイマー病の GWAS で同定した PLXNA4 リス
ク SNP と老年疾患との関連性および軸索変性防御機能の検
討
浅井宏英(医療法人清見会 ヤスタクリニック 神経内科・リハビリテ
ーション科)
2. 老化の多様性を規定する解糖系代謝恒常性の維持・変容・破
綻による病態解明
近藤祥司(京都大学医学部附属病院高齢者医療ユニット、糖
尿病・内分泌・栄養内科学)
3. 認知症神経病理の進行を規定する因子の同定と診断・治療
法への応用
武田朱公(大阪大学大学院医学系研究科臨床遺伝子治療
学)

認知症の実践セミナー

S1. 認知症を理解するために必要な老年医学の知識
司会: 大内尉義(国家公務員共済組合連合会虎の門病院)

S2. 認知症診療の実践
司会: 浦上克哉(鳥取大学医学部保健学科生体制御学講
座)
大内尉義(国家公務員共済組合連合会虎の門病院)

<座学形式>高齢者医療研修会
<ワークショップ形式>高齢者医療研修会
一般演題 344 題

2) 地方会

第30回日本老年医学会 北海道 地方会
第70回日本老年医学会 関東甲信越 地方会
第30回日本老年医学会 東北 地方会
第30回日本老年医学会 東海 地方会
第30回日本老年医学会 近畿 地方会
第30回日本老年医学会 北陸 地方会
第31回日本老年医学会 中国 地方会
第31回日本老年医学会 四国 地方会
第30回日本老年医学会 九州 地方会
第71回日本老年医学会 関東甲信越 地方会

3) 第13回老年医学サマーセミナー(定款第6条7項)
主催: 国立長寿医療研究センター、日本老年医学会
会期: 2019年8月2日～8月3日(1泊2日)
開催地: 国立長寿医療研究センター
対象: 医学部に在籍する学生、初期研修医対象。
学会から交通費を助成する。
目的: 老年医学の最前線を学ぶ

4) 高齢者医療研修会(定款第6条7項)
座学形式の高齢者医療研修会(8時間程度)を開催する。
ワークショップ形式の高齢者医療研修会(8時間程度)を開催する。

5) 老人保健施設管理医師総合診療研修会(定款第6条7項)
共催: 日本老年医学会、全国老人保健施設協会
協力: 国立長寿医療研究センター
第I期: 2019年6月29日～6月30日、第II期: 2019年10月5日
～6日
対象: 老健施設等に勤務する医師
開催地: 東京(京橋、池袋)、名古屋、大阪、福岡

6) 高齢者栄養療法研修会(定款第6条7項)
第4回: 2018年6月23日～24日(東京)、
第5回: 2018年12月15日～16日(大府)

2. 学会誌その他の出版物の刊行(定款第6条2項)
和文誌「日本老年医学会雑誌」
1) 定期号 第56巻2号～4号及び第57巻1号 合計4冊発行
予定
2) Supplement 第61回学術集会講演抄録集として第56巻
のSupplementを5月に発行予定
英文誌「Geriatrics & Gerontology International」
月刊誌としてオンラインで年12回発行予定

3. 学会認定 老年病専門医、指導医、教育施設の認定(定款第6
条3項)

- 1) 老年病専門医の認定
日本老年医学会認定 老年病専門医制度規則により第27回専
門医試験を平成30年10月に東京都中央区において実施する。
受験には日本老年医学会認定 老年病専門医制度に規定する
研修カリキュラムに従った老年病学臨床研修を要する。試験合格者
を決定し認定する。
- 2) 指導医の委嘱
日本老年医学会認定 老年病専門医制度規則により提出される指
導医申請書類の審査を実施し、委嘱する。
- 3) 教育施設の認定
日本老年医学会認定 老年病専門医制度規則により提出される認
定施設申請書類の審査を実施し、認定する。
- 4) 老年病専門研修カリキュラムの認定
整備基準、およびカリキュラムに基づき作成、提出される老年病専

門研修カリキュラムの申請書類の審査を実施し、認定する。

- 5) 平成31年3月31日において認定を受けた日から満5年を経る老年病専門医、指導医、認定施設に対し、日本老年医学会認定老年病専門医制度規則により提出される書類の審査を実施し、更新を認定する。

4. 研究の奨励、研究業績の表彰(定款第6条4項)

1) 日本老年医学会優秀論文賞

和文誌：日本老年医学会雑誌第56巻1号から4号(平成31年1月～令和元年10月発行)に掲載された論文の中から、優秀な論文を選考し、顕彰する。

2) GGI優秀論文賞

英文誌：Geriatrics & Gerontology International Vol.19 Issue1からIssue12 (2019年発行)に掲載された論文の中から優秀な論文を選考し、顕彰する。

- 3) 日本老年医学会老化および老年医学研究助成として応募の中から優秀な研究に対し助成を行う。

5. 内外の関連学術団体との連絡及び協力(定款第6条5項)

- 1) 加盟学術団体である日本老年学会の運営を、日本老年社会科学会、日本基礎老化学会、日本老年歯科医学会、日本老年精神医学会、日本ケアマネジメント学会、日本老年看護学会と共に協議協力する。

- 2) 日本老年学会として加盟している国際老年学協会International Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG)の活動に参加協力する。

6. その他、目的を達成するために必要な事業(定款第6条8項)

1) 各種委員会

あり方委員会、健康長寿達成を支える老年医学推進5か年計画ワーキング、財務委員会、雑誌編集委員会、GGI編集委員会、高齢者医療委員会、認知症対策小委員会、在宅医療小委員会、高齢者災害医療小委員会、ワクチン療法推進小委員会、骨折転倒対策小委員会、科学的介護検討小委員会、高齢者医療研修委員会、研修認定審査小委員会、研修会企画小委員会、学術委員会、フレイル・サルコペニア対策小委員会、EWTPIA75小委員会、高齢者薬物療法のガイドライン作成WG、高齢者の生活習慣病管理ガイドライン作成WG、高齢者糖尿病の治療の質向上のための合同委員会、認知・ADL-7妥当性検討WG、教育委員会、専門医制度委員会、新専門医制度準備小委員会、専門医試験作成・認定小委員会、専門医資格・施設認定小委員会、顕彰委員会、優秀論文選考委員会、老化および老年医学研究助成選考委員会、倫理委員会、エンドオブライフに関する小委員会、利益相反委員会、学術カリキュラム委員会、国際交流委員会、国内交流委員会、広報委員会、選挙管理委員会、男女共同参画委員会、用語委員会、YIA選考委員会、老年症候群の観点から見た転倒予防とその限界に関する検討WG、高齢者に関する定義検討WG

2) 市民公開シンポジウム

令和元年度学術集会カリキュラムおよび地方会カリキュラムの中で開催する。

収支予算書総括表

自 2019年4月 1日
至 2020年3月31日

(単位:円)

科目	一般会計	専門医 特別会計	学術集会 特別会計	支部 特別会計	地方会 特別会計	内閣取引部会	合計
Ⅰ. 事業活動収支の部							
1. 事業活動収入							
基本財産運用収入	2,000						2,000
基本財産運用収入	2,000						2,000
経費収入	80,900,000						80,900,000
正会員会費収入	79,000,000						79,000,000
賛助会員会費収入	1,900,000						1,900,000
事業収入	34,100,000	6,900,000	79,000,000	830,000	17,100,000		134,630,000
支部会費収入				830,000			830,000
誌費収入	27,600,000						27,600,000
専門医認定審査料収入		600,000					600,000
専門医認定料収入		1,300,000					1,300,000
専門医更新審査料収入		7,000,000					7,000,000
参加費収入		30,000,000			5,000,000		35,000,000
展示会出展料収入		5,000,000					5,000,000
第71回学術大会収入		30,000,000			5,000,000		35,000,000
広帯域料収入		1,900,000			5,000,000		6,900,000
研究会・助成費収入		7,500,000			2,000,000		9,500,000
研修会収入	2,500,000						2,500,000
高齢者認定料収入	4,000,000						4,000,000
その他収入		100,000			100,000		200,000
収入計	2,000,000	50,000	50,000	330	0		2,100,330
支払利息収入	8,000			330			8,330
雑収入	2,000,000	50,000	50,000	0			2,100,000
前会計からの繰入金収入			3,000,000	2,900,000	2,630,000		9,030,000
支部会からの繰入金収入			3,500,000	2,900,000			6,400,000
支部会からの繰入金収入					2,630,000		2,630,000
事業活動収入計	117,610,000	8,950,000	77,150,000	3,730,330	19,730,000		217,270,330
Ⅱ. 事業活動支出							
事業費支出	54,681,000	6,760,000	76,500,000	2,645,000	19,730,000		159,166,000
会費支出	55,830,000						55,830,000
研究費支出	1,000,000						1,000,000
研究費支出	600,000						600,000
その他事業費支出	28,911,000						28,911,000
専門医事業費支出	6,730,000						6,730,000
学術集会事業費支出		75,500,000					75,500,000
支部事業費支出				2,645,000			2,645,000
地方会事業費支出					19,730,000		19,730,000
経費支出	56,400,000						56,400,000
人件費支出	22,000,000						22,000,000
福利厚生費支出	4,000,000						4,000,000
経費交通費支出	2,500,000						2,500,000
会議費支出	1,500,000						1,500,000
通信運搬費支出	2,000,000						2,000,000
印刷製本費支出	2,500,000						2,500,000
消耗品費支出	1,500,000						1,500,000
不動産費支出	500,000						500,000
賃借料支出	6,700,000						6,700,000
委託費支出	6,000,000						6,000,000
運送手送料支出	1,200,000						1,200,000
加盟団体分会費支出	2,200,000						2,200,000
電算機プログラム作成費支出	500,000						500,000
雑費支出	300,000						300,000
前会計からの繰入金支出	6,400,000	0	0	2,630,000	0		9,030,000
学術集会会費からの繰入金支出	3,500,000						3,500,000
支部会からの繰入金支出	2,900,000			2,630,000	0		5,530,000
教育企画推進費支出	900,000						900,000
事業活動支出計	117,381,000	6,760,000	76,500,000	5,175,000	19,730,000		215,566,000
事業活動収支差額	△ 371,000	2,200,000	1,650,000	△ 1,454,670	0		2,024,310
Ⅲ. 投資活動収支の部							
1. 投資活動収入							
固定資産売却収入	0	0	0	0	0		0
投資活動収入計	0	0	0	0	0		0
Ⅳ. 投資活動支出							
特定資産取得支出	1,200,000	0	0	0	0		1,200,000
投資活動支出計	1,200,000	0	0	0	0		1,200,000
投資活動収支差額	△ 1,200,000	0	0	0	0		△ 1,200,000
当年度費	691,000	1,650,000					2,141,000
当期収支差額	△ 2,062,000	2,200,000	0	△ 1,454,670	0		△ 1,316,670
前期繰越収支差額	135,142,889	2,200,000	0	24,372,814	0		161,716,703
次期繰越収支差額	133,080,889	4,400,000	0	22,918,144	0		160,409,033

収支予算書(一般会計)

自 2019年4月1日

至 2020年3月31日

(単位:円)

科	目	当期予算額(31年度)	前期予算額(30年度)	差異	備考
1	1. 事業活動収支の部				
2	1. 事業活動収入				
3	基本財産運用収入	(2,000)	2,000	(0)	
4	基本財産運用収入	2,000	2,000	0	
5	会費収入	(80,900,000)	80,900,000	(0)	
6	正会員会費収入	79,000,000	79,000,000	0	
7	賛助会員会費収入	1,900,000	1,900,000	0	
8	会誌発行収入	(27,600,000)	28,400,000	(△800,000)	
9	広告掲載料収入	1,500,000	1,800,000	△300,000	
10	贈答代掲載料等収入	1,000,000	1,500,000	△500,000	
11	会誌購読者代収入	100,000	100,000	0	
12	書籍頒布代収入	25,000,000	25,000,000	0	
13	研修会収入	(2,500,000)	2,500,000	(0)	
14	研修会収入	2,500,000	2,500,000	0	
15	医師会認定医収入	(4,000,000)	0	(4,000,000)	
16	医師会認定医診察料収入	2,000,000	0	2,000,000	
17	医師会認定医診察料収入	2,000,000	0	2,000,000	
18	雑収入	(2,000,000)	2,000,000	(0)	
19	雑収入	2,000,000	2,000,000	0	
20	雑収入	2,000,000	2,000,000	0	
21	事業活動収入計(A)	117,010,000	113,810,000	3,200,000	
22	2. 事業活動支出				
23	事業費支出	54,681,000	55,500,000	△919,000	
24	会誌等出版事業費支出	(25,870,000)	25,750,000	(120,000)	
25	会誌印刷製本費支出	11,500,000	11,500,000	0	
26	会誌通信運搬費支出	4,500,000	4,500,000	0	
27	会誌編集費支出	1,120,000	1,250,000	70,000	
28	英文誌発行費支出	6,500,000	6,500,000	0	
29	研修会支出	(1,000,000)	1,000,000	(0)	
30	研修会支出	1,000,000	1,000,000	0	
31	研究奨励事業費支出	(850,000)	850,000	(0)	
32	講演論文賞支出	600,000	600,000	0	
33	学費賞・功労賞支出	250,000	250,000	0	
34	その他事業費支出	(28,911,000)	27,900,000	(△989,000)	
35	研究基金支出	3,000,000	3,000,000	0	
36	加盟学術団体負担金支出	0	2,000,000	△2,000,000	
37	研究事業費支出	10,000,000	9,000,000	1,000,000	
38	国際交流事業費支出	800,000	800,000	0	
39	助成金支出	2,000,000	2,000,000	0	
40	式禮活動費支出	1,900,000	1,900,000	0	
41	雑費関係費支出	111,000	1,200,000	△1,089,000	
42	会議費支出	950,000	500,000	450,000	
43	旅費交通費支出	4,550,000	4,000,000	950,000	
44	通信費支出	1,000,000	1,000,000	0	
45	印刷製本費支出	1,200,000	1,200,000	0	
46	消耗品費支出	1,000,000	1,000,000	0	
47	管理費支出	56,400,000	48,550,000	7,850,000	
48	人件費支出	22,000,000	22,000,000	0	
49	福利厚生費支出	4,000,000	4,000,000	0	
50	旅費交通費支出	3,500,000	2,200,000	1,300,000	
51	会議費支出	1,500,000	1,500,000	0	
52	通信運搬費支出	2,000,000	2,000,000	0	
53	印刷製本費支出	2,500,000	1,900,000	1,500,000	
54	消耗品費支出	1,500,000	1,500,000	0	
55	光熱水料費支出	500,000	500,000	0	
56	賃借料支出	8,700,000	8,700,000	0	
57	委託費支出	6,000,000	3,000,000	3,000,000	
58	親込手数料支出	1,200,000	1,000,000	200,000	
59	加盟団体負担金支出	2,200,000	50,000	2,150,000	
60	電子メールプログラム作成費支出	500,000	500,000	0	
61	雑費支出	300,000	300,000	0	
62	他会計への繰入金支出	6,400,000	6,400,000	0	
63	学術・医学雑誌編集事業費支出	(6,400,000)	6,400,000	(0)	
64	学術・医学雑誌編集事業費支出	3,500,000	3,500,000	0	
65	支店会計への繰入金支出	2,000,000	2,000,000	0	
66	教育企画運営費支出	900,000	900,000	0	
67	事業活動支出計(B)	117,881,000	110,460,000	6,931,000	
68	事業活動収支差額(C)=(A)-(B)	△971,000	3,360,000	△971,000	

科	目	当期予算額(31年度)	前期予算額(30年度)	差異	備考
69	II. 投資活動収支の部				
70	1. 投資活動収入				
71	特定資産取崩収入	(0)	0	(0)	
72	研究助成金取崩収入	0	0	0	
73	施設増設資産取崩収入	0	0	0	
74	設備増設資産取崩収入	0	0	0	
75	投資活動収入計(D)	0	0	0	
76	2. 投資活動支出				
77	特定資産取得支出	(1,200,000)	1,200,000	(0)	
78	設備増設引当資産取得支出	1,200,000	1,200,000	0	
79	投資活動支出計(E)	1,200,000	1,200,000	0	
80	投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	△1,200,000	△1,200,000	0	
81	III. 予備費支出				
82	当期収支差額(G)=(C)+(F)-(G)	491,000	491,000	0	
83	当期収支差額(H)=(C)+(F)-(G)	△2,062,000	1,669,000	△3,731,000	
84	前期繰越収支差額(I)	135,142,889	133,473,889	1,669,000	
85	次期繰越収支差額(J)=(H)+(I)	133,080,889	135,142,889	△2,062,000	